

もちつき体験とあそび

11/5~12/1

連携先:南中地区青少年健全育成協議会

ねらい:地域の方々との連携や小学生のお世話をするを通して、自己有用感を高める。

- ☑ 自己有用感を高める
- ☑ 他者と協働する力を高める
- ☑ 学校や地域の一員としての自覚を持たせる
- ☑ 様々な活動に意欲的に参加できるようになる

ボランティア募集開始
11/5

・イベントのお手伝いとして活動するボランティアに参加したい生徒が、申込書を提出する。



ボランティア説明会
11/25

・青少協の方々の指示に従い、それぞれの担当場所に分かれ、前日準備と当日の仕事内容についての説明を聞く。



前日準備 11/30

・道具を所定の場所に設置したり、お米を研いで水に浸したりするなど、当日に向けた準備を行う。

・実際にお餅をつき、当日の流れを確認する。

当日 12/1

・青少協の方々の指示に従い、それぞれの担当場所（もちつきエリアと昔あそびエリア）で小学生のお世話を行う。

・小学生にもちつきの仕方や昔あそびの遊び方教えるなど、一緒に活動する。



成果

- ・地域の方々や小学生たちとふれあうことで、普段の学校生活の中では見られない生徒たちの新たな一面や、非常に充実した表情で活動する姿を見ることができた。
- ・体験を通して、地域や学校の一員であるという自覚を深めることのできた生徒が93%みられた。

課題

- ・前日準備の時間が想定より長くかかってしまった。1年生や初めてのボランティアが多く、活動の要領をつかむまでに時間がかかってしまったことが原因であると考えられる。今後は、前年度に経験のある生徒をリーダーに配置するなど、作業が円滑に進められるようにしていく。